

## 授業概要

— フランス語を話してみよう！ —

この授業の目標は「フランス語が少しでも話せるようになること」である。仏語を使って簡単な会話練習をするだけなので、難しいことはしない。また、フランス映画などの映像を見たり、シャンソンを聴いたりして仏文化に慣れ親しみ、それに関する講義を聞くことになる。

このレッスンを受けることにより、一年かけて「フランス語Ⅰ」と「フランス語Ⅱ」で培った基礎力と文法知識をはじめて活かすことになる。「習うより慣れろ」で、それは仏語のフレーズを口に出して発音するトレーニングを行い、耳を慣らすことによって実現する。書く作業は基本的には行わない。

担当講師はフランスの社会で実際に生活した経験があり、授業ではフランス語での細かい指導はもちろんのこと、日本語によるアドバイスが受けられ、コミュニケーション能力と正しい発音が養成される。教授法に則したテキストを用い、実践的な会話能力やプレゼンテーションのスキルを身につける。

## 授業計画

第1回	Unit é 0 Contacts 導入、挨拶・簡単な自己紹介 / アルファベット、発音と綴り字
第2回	Unit é 1 Tchat et Forum 名前や住所を尋ねる、人を紹介する / 名詞、冠詞
第3回	Unit é 2 Présentations 自己紹介とプレゼンテーション / 形容詞の女性形・複数形
第4回	Unit é 2 Fiches d' hôtel 質問する / être 動詞の使い方
第5回	Unit é 3 Coordonnées 連絡先を教える / avoir 動詞の用法
第6回	Unit é 3 Cartes de visites et forum professionnel 謝る、感謝する / 数字の言い方
第7回	Projet 1 Réaliser un trombinoscope クラス名簿をつくる
第8回	Unit é 4 Goûts 好みをあらわす / 第一群規則動詞の用法
第9回	Unit é 4 Donner son avis 意見を述べる / 様々な動詞の使い方
第10回	Unit é 5 Loisirs 好きな娯楽について話す / 不定冠詞の使い方
第11回	Unit é 5 Un tableau statistique 趣味を語る / 分量の表現
第12回	Unit é 6 Souhaits 希望を述べる / 所有形容詞の使い方
第13回	Unit é 6 Une campagne de sensibilisation 或る事柄について話す / 様々な疑問文
第14回	Projet 2 Choisir des cadeaux プレゼントを選ぶ
第15回	レッスンのまとめ
第16回	レポート提出

## 到達目標

知識と経験は別物だ。高度なコミュニケーション・スキルは、何気ない日常的な言葉の反復によって養われる。そして、インプットした知識をスムーズに実地に移すには、それをアウトプットできる「練習の場」を持たなければならない。こうしたことから、この授業はまず第一に、これまで勉強した事柄をアウトプットできる「場」になることを目指す。原則として「文部科学省後援実用フランス語技能検定試験」3級・4級の資格が取得できるレベルを目指す。

## 履修上の注意

外国語は声に出して発音してこそ身につくものだ。そのため、授業では積極的に発言していくことを期待する。なお、これまでの仏語学習を完成させるためにも、以前「フランス語Ⅰ（初級）」と「フランス語Ⅱ（中級）」を受講した学生が履修することが望ましい（学習年度は問わない）。原則として遅刻は認めない。

## 予習・復習

授業で指示される予習・復習をきちんと行い、課題をこなすことが求められる。実践してみよう。

## 評価方法

会話のレッスンという性質上、会話での演習（50%）、授業参加の度合（30%）、レポート（20%）などを総合的に評価する。ただし、基本的には、受講生が学習を通して各々将来の目標に役立つ「何か」をつかんでくれることに主眼を置く。

## テキスト

教科書は不要。レッスン用のプリントを配布する。